

特集

経験学習

経験から自律的に学べる看護師を育てるための場づくりと技法

看護師自身が経験から学ぶための支援方法として、「リフレクション」や「デブリーフィング」,「ナラティブな場づくり」といったコミュニケーションを基盤とする教育技法が注目されています。研修やシミュレーションなどの特別な場だけではなく、日々の病棟の看護実践においても経験を振り返ることによって、看護実践力や臨床判断力が高まることが期待されます。また、生涯を通じたキャリア支援にもつながるでしょう。

4回目となる「看護管理」4月号の“新任看護師長必読!”特集では、こうした看護師自身が自らの経験から自律的に学び続けるための場づくりと技法について、その考え方と知識・実践を紹介します。

【対談】経験から学べる看護師を育てる

臨床判断モデルの臨床での活用を考える

●Christine A. Tanner／中山洋子（通訳：早野 ZITO 真佐子）

経験から主体的に学べる看護師を育てる病棟チームづくり

アクティブラーニングを取り入れた OJT ●阿部幸恵

対話を通した中堅看護師のキャリア形成支援

ナラティブアプローチによる「語る—きく」場の創造 ●紙野雪香

経験学習に基づく人材育成

東京都済生会中央病院の取り組み ●東めぐみ

巻頭

大学院で学ぶ看護管理学 現場の実践から新たな「知」を生むために④

千葉大学大学院

特別記事

挑戦的な経験と乗り越えるための上司の支援によって看護師長は成長する

倉岡有美子

新連載

教育者のための看護リフレクション 経験から学べる看護師を育てる

東めぐみ

編集後記

▶昨春から始めた華道（ネタ切れで頻出のテーマに…。あまりにセンスがなく自分に嫌気が差し、辞めようかと思っていた昨年末。師匠から「年明けから研究会に進むように」とのお達しが。研究会とは月に一度、本部会館でその月のお題の花型を決められた時間で活け、本部講師による採点と全体総評および個人講評を受ける鍛錬・修養の場です。採点があるため緊張して（小心者）、後ろ向きな気持ちで臨んだのですが、大変興味深い学びの機会になりました。まずはこれまで全く覚えられなかった型を真剣に覚える機会になりました（苦笑）。そして同じ型でもどこまで自由度が許されるのか、どこからが逸脱なのか、などについて総評および講評から学べ、他の参加者の作品からは発想や表現の豊かさを学ぶことができました。ちなみに初回の点数は90点（ほとんどの人が95～85点に収まるシステムのようなので中庸です）。師匠の顔に泥を塗ることはとりあえずなかったかと安堵して帰途につきました。（小齋）	▶成人式までは年を取る度楽しい節目が多いものですが、大人になると突然やってくる厄年。2016年で厄が終わるため、年末には細木和子の六星占術を引っ張り出し自分は天王星人の陽だとか騒いでおりましたが、何事もなく年が明けほっと一息でした。▶しかし、年始に厄年は節分まで（諸説あります）という話を聞き突然不安になり、2月3日をひたすら待ち続ける日々を送っておりました。その願いは届かず、寒波の折に通り雨に振られ風邪で寝込み、さらにその数日後には朝の通勤時にバスが来ていたため駆け出したところ、路面が凍結していて曲がり角で見事なスリップ。幸い右太ももの打撲と手の擦り傷で済みましたが、通学路を通っていた近所の中学生の間では話題になっていることでしょう。▶この編集後記を書いている今日から節分まで、これ以上何もないことを祈りながら、2017年は「急いては事を仕損じる」「最後まで油断大敵」を肝に銘じたいと思います。（宇津井）
---	---

看護管理 第27巻第3号

2017年3月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2017, Printed in Japan

定価 本体1500円＋税

2017年年間購読料

冊子版 本体16920円＋税

冊子＋電子版/個人 本体19920円＋税

電子版/個人 本体16920円＋税

（いずれも送料弊社負担）

『看護管理』編集室（担当：小齋、宇津井、伊藤）

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

〔年間購読のお申し込み先〕

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は、株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】（出版者著作権管理機構委託出版物）複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください（TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp）。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された [0917-1355/16/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPY] は、1論文1回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。

facebook やってます!

アカウントをお持ちの方は「看護管理」で検索していただき、「いいね!」をお願いいたします。
http://www.facebook.com/kangokanri1991
●twitter アカウントは、@kangokanri です。
合わせてフォローをお願いいたします。